

株式会社ヒラノテクシード（6245 JP）

事業戦略の変更に伴い、中期経営計画（2024-2027年度）の事業方向性を見直し

エグゼクティブサマリー

➤ FY25 上期決算

ヒラノテクシードが発表したFY25上期決算は、売上高18,157百万円（前年同期比25.5%減）、営業利益1,209百万円（同18.0%増）となった。これにより営業利益率はFY24上期の4.2%から6.7%へと大幅に伸長した。塗工機関連機器セグメントにおいて価格転嫁が順調に進み、FY25上期決算は売上高予想の16,750百万円（同31.3%減）、および9月に750百万円（同26.8%減）から1,000百万円（同2.4%減）に上方修正した営業利益予想を上回った。

➤ FY25 業績予想

FY25通期予想は、売上高33,500百万円（前期比30.7%減）、営業利益1,500百万円（同10.8%減）で据え置かれた。同社はEV市場の世界的減速や米国の関税政策による長引く不透明感の影響で、塗工機関連機器セグメントは通期で減収減益になると見ている。同社はFY24に発生した収益性における課題を認識しており、営業利益は絶対値で減益が予想されるものの、営業利益率の3.5%から4.5%への改善を目指す。

➤ 増大する経営環境の不透明感

2023年5月の「長期ビジョン2030」、および2024年5月の中期経営計画（FY24-FY27）発表時と比べ事業環境が大きく変化したことを踏まえ、同社は中期経営計画の成長戦略の見直しを行った。今後は、EV需要に基づく二次電池塗工装置を中心とした生産能力向上重視の戦略から、各先端分野の薄膜新素材の開発に重点をおいたあらゆるニーズに対応できる同社本来の強みを生かした戦略へと転換を図る。株主還元の配当金に関しては、DOE3.5%または配当性向60%のいずれか高い金額を目安に実施するという現行の方針を維持する。

ヒラノテクシード（6245 JP）: 株価バリュエーション

時価総額 (百万円)	23,700	時価総額 (百万ドル)	152.9			
22日平均売買代金 (百万円)	44	22日平均売買代金 (百万ドル)	0.3			
株価パフォーマンス (%)	6245	TOPIX	業績予想 (百万円, %)	FY23	FY24	FY25CE
株価 (¥, 2025年12月04日終値)	1,541	3,398.21	売上高	46,946	48,355	33,500
3mo (2025年09月04日終値比)	-5.6	10.3	営業利益	3,236	1,681	1,500
6mo (2025年06月04日終値比)	5.0	22.0	営業利益率 [OPM] (%)	6.9	3.5	4.5
YTD (2025年1月6日終値比)	-19.1	42.0	EBITDA	4,020	2,531	2,500*
1yr	-14.4	24.0	EPS (¥)	161.7	59.9	72.75
5yrs	-22.2	91.3	財務レバレッジ (X)	1.6	1.6	1.6*
一株当たり指標	6245	TOPIX	ネットD/Eレシオ (X)	-0.2	-0.2	-0.2
EPS (¥, FY25 CE)	72.75	189.76	フリーキャッシュフロー	5,615	-871	*1,350
DPS (¥, FY25 CE)	115.50	N/A	株主還元概要	FY23	FY24	FY25CE
BPS (¥, FY25 EST)	2516.75	N/A	配当金 (¥)	88	90	84
FCFPS (¥, FY25 EST)	81.20	N/A	配当性向 (%)	54.4	150.2	115.5
予想 PER (X)	21.18	17.01	配当利回り (%)	N/A	N/A	7.2
PBR (x)	0.61	1.61	DOE (%)	3.5	3.6	3.6*
PCFR (x)	18.98	N/A	自己株比率 (%)	N/A	N/A	N/A
EV/EBITDA (X)	8.94	N/A	ROE (%)	6.2	2.4	2.9

Source: Nippon-IBR based on data on Bloomberg and Toyo Keizai / * Nippon-IBR estimates

FY25 上期決算概要

ヒラノテクシードが発表した FY25 上期決算は、売上高 18,157 百万円（前年同期比 25.5%減）、営業利益 1,209 百万円（同 18.0%増）となった。これにより営業利益率は FY24 上期の 4.2%から 6.7%へと大幅に伸長した。塗工機関連機器セグメントにおいて価格転嫁が順調に進み、FY25 上期決算は売上高予想の 16,750 百万円（同 31.3%減）、および 9 月に 750 百万円（同 26.8%減）から 1,000 百万円（同 2.4%減）に上方修正した営業利益予想を上回った。売上高は前年同期比でマイナス成長となつたが、以下の理由により、営業利益、営業利益率ともに改善した：①EV 市場向け装置の生産の順調な推移、②顧客との交渉により仕向地変更に関わる追加費用の一部回収や保留されていた案件の進捗、③国内案件の生産消化、生産性改善による原価ロス削減への取り組み、による。第 2 四半期単独では、売上高 7,438 百万円（同 39.5%減・前四半期比 30.6%減）、営業利益 387 百万円（同 47.1%減・同 52.8%減）となつた。

上期売上高と営業利益はともに会社予想をそれぞれ 8.4%と 20.9%上回った。塗工機関連機器セグメントのリチウムイオン二次電池向け製品を中心受注残の消化が進んだことに加え、顧客交渉により納期延期などで工程が停滞していた案件の進捗が売上高に貢献した。

受注済案件の順調な消化に伴い、受注残は FY24 上期の 56,987 百万円から FY25 上期の 36,799 百万円（同 35.4%減・同 8.4%減）へ減少した。EV 用リチウムイオン二次電池向け塗工機関連機器を含むエネルギー関連の受注残は、FY24 第 2 四半期の 51,256 百万円、同第 3 四半期の 42,671 百万円、同第 4 四半期の 40,335 百万円、FY25 第 1 四半期の 33,698 百万円から、FY25 第 2 四半期の 30,713 百万円（同 40.1%減・同 8.9%減）へと縮小した。一方、受注高は第 1 四半期 3,343 百万円（同 53.6%減・同 57.1%減）、第 2 四半期 4,054 百万円（同 64.3%減・同 21.3%増）となり、うちエネルギー関連は第 1 四半期 2,754 百万円（同 50.4%減・同 52.1%減）、第 2 四半期 2,674 百万円（同 74.7%減・同 2.9%減）に留まった。これは、大型案件の不足、および付帯工事受注の減少による。

利益面では複数のマイナス要因が塗工機関連機器セグメントを中心に収益性に影響を及ぼした。産業資材、人件費、外注費などの費用が急騰した上、EV 市場全体の低迷と米国の関税政策に伴う不透明感により主要顧客は設備投資計画を見直し延期した。さらに、顧客の受注後の仕様変更や納期延期の要請は、保管場所等追加の経費負担を生み、収益性を悪化させた。同社はこれらの追加経費を顧客負担とするよう交渉する方針であり、どの程度まで実現可能かは案件次第であるが、FY25 上期には一部の顧客の合意を取り付けた。また、同社は生産コストの削減にも引き続き注力した。その結果、上期の売上総利益率は、前年同期比 3.8pt 増の 17.9%、営業利益率は同 2.5pt 増の 6.7%とそれぞれ改善した。しかし第 2 四半期単独では売上高 7,438 百万円（同 39.5%減・同 30.6%減）、営業利益 387 百万円（同 47.1%減・同 52.8%減）となり、収益の悪化がより顕著となつた。

ヒラノテクシード（6245 JP）: 業績サマリー								
(百万円)	FY24			FY25				
	上期	下期	通期	上期	YoY (%)	HoH (%)	上期(予)	予想比 (%)
売上	24,388	23,967	48,355	18,157	-25.5	-24.2	16,750	8.4
GP	3,433	3,088	6,522	3,243	-5.6	5.0	N/A	N/A
GPM (%)	14.1	12.9	13.5	17.9	+3.8ppt	+5.0ppt	N/A	N/A
SG&A	2,409	2,431	4,840	2,033	-15.6	-16.4	N/A	N/A
SG&A/Sales (%)	9.9	10.1	10.0	11.2	+1.3ppt	+1.1ppt	N/A	N/A
営業利益	1,024	656	1,681	1,209	18.0	84.1	1,000	20.9
OPM (%)	4.2	2.7	3.5	6.7	+2.5ppt	+4.0ppt	6.0	+0.7ppt
経常利益	1,201	692	1,894	1,275	6.1	84.0	1,050	21.4
RPM (%)	4.9	2.9	3.9	7.0	+2.1ppt	+4.1ppt	6.3	+0.8ppt
当期純利益*	867	38	905	901	3.9	2,232.5	720	25.2
EPS (¥)	57.37	N/A	59.91	59.59	3.9	N/A	47.62	25.2

Source: Nippon-IBR based on Hirano Tecseed's earnings results materials
* 親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別業績

同社には3つのセグメントがあり、うち塗工機関連機器と化工機関連機器の2つのセグメントが合計で連結売上高の95.6%、および連結営業利益の大半を占める。

塗工機関連機器

塗工機関連機器セグメントは同社の最も重要な事業であり、FY25 上期売上高の82.9%を占める。同セグメントの主要製品はリチウムイオン二次電池向け電極塗工装置である。同セグメントの上期決算は、売上高15,051百万円（前年同期比27.0%減）に対して営業利益は前年同期比で22.4%増の1,670百万円と伸長した。販売手数料支払額の減少等により販売管理費が468百万円縮小し、営業利益を305百万円押し上げたことで、営業利益率は前年同期比4.5pt増の11.1%となった。しかし売上総利益は、産業資材の価格高騰および仕向地・仕様変更によるコスト増により162百万円減少した。

現在まで、同社は受注残の減少に注力することにより利益を実現してきた。しかし今後より重要なのは、将来の利益成長の指標となる受注を改善することである。上期のセグメント受注高は前年同期比66.3%減の5,428百万円でありこれは月平均にすると、中期経営計画のFY27 売上目標30,000百万円を達成するのに必要な月平均受注高2,500百万円を下回る。同社はセグメントの受注残消化に引き続き取り組んでおり、受注残はFY25 上期末で30,713百万円（前年同期比40.1%減・前四半期比8.9%減）まで縮小した。同セグメントでは機械の納入のみならず、全塗工工程への導入も行う付帯工事にサービスを拡大したが、上期では、製造工程の初期段階の売上が主に計上された。さらに、付帯工事は今後最終段階となる機械装置の減少により、縮小していく可能性がある。

足下のEV市況を鑑み、同社はEV市場の成長軌道に関する見方を変更した。

化工機関連機器

化工機関連機器セグメントはFY25 上期全社売上高の12.7%を占めている。同セグメントの上期決算は、売上高2,309百万円（前年同期比21.5%減）、営業利益397百万円（同62.8%増）となった。前年同期比での減収は、主にMLCC（積層セラミックコンデンサー）や透明ポリイミドフィルムなどの電子材料用途向けの成膜装置の売上が低迷したことによる。顧客は米国の関税政策の影響を注視しているが、設備投資意欲は依然として減退しており、同社の売上高に影響を及ぼしている。

一方、同セグメントの営業利益は前年同期比で153百万円増となっており、その内訳は、1) 原価率の低減(+76百万円)、2) 販売管理費の削減(+77百万円)、である。同社はMLCCを成膜装置の対象市場として市場シェアの拡大を図っており、売上高の鈍化にもかかわらず、さらなる受注の獲得にコミットしている。リチウムイオン二次電池の設備投資が活況であった際、同社は生産資源のほとんどを塗工機関連機器セグメントに投入し、化工機関連機器セグメントへの配分は最小限に留めた。潜在顧客からの引き合いは引き続きあるものの、受注水準は依然として低い。上期の受注高は1,389百万円（同19.2%減）であった。

ヒラノテクシード（6245）: セグメント別財務サマリー（累計ベース）								
(百万円)	FY23		FY24			FY25		
	上期	通期	上期	下期	通期	上期	YoY (%)	HoH (%)
塗工機関連機器	売上高	18,227	37,374	20,629	21,390	42,020	15,051	-27.0
	営業利益	918	3,168	1,364	1,178	2,543	1,670	22.4
	OPM (%)	5.0	8.5	6.6	5.5	6.1	11.1	+4.5ppt
化工機関連機器	売上高	3,261	7,850	2,941	1,704	4,645	2,309	-21.5
	営業利益	504	1,257	244	49	293	397	62.8
	OPM (%)	15.5	16.0	8.3	2.9	6.3	17.2	+8.9ppt
その他・調整	売上高	857	1,720	817	871	1,688	796	-2.5
	営業利益	47	269	149	122	271	5	-96.4
	OPM (%)	5.5	15.7	18.2	14.1	16.1	0.7	-17.6ppt
連結合計	売上高	22,346	46,946	24,388	23,967	48,355	18,157	-25.5
	営業利益*	769	3,236	1,024	656	1,681	1,209	18.0
	OPM (%)	3.4	6.9	4.2	2.7	3.5	6.7	+2.5ppt

Source: Nippon-IBR based on Hirano Tecseed's earnings results materials

*1: Total OP = Total segment OP deducted by HQ costs

ヒラノテクシード(6245): セグメント別財務サマリー(四半期)								
(百万円)	FY24				FY25			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	YoY (%)	QoQ (%)
塗工機関連機器	売上高	10,332	10,297	13,305	8,085	9,392	5,659	-45.0
	営業利益	584	780	1,090	87	1,112	557	-28.5
	OPM (%)	5.7	7.6	8.2	1.1	11.9	9.9	+2.3ppt
化工機関連機器	売上高	1,260	1,681	849	855	1,020	1,288	-23.3
	営業利益	-10	254	-62	112	106	291	14.3
	OPM (%)	-0.8	15.1	-7.4	13.1	10.4	22.6	+7.4ppt
その他・調整	売上高	506	310	429	442	307	489	57.6
	営業利益	67	81	101	21	27	-21	-126.8
	OPM (%)	13.3	26.3	23.6	4.9	8.9	-4.5	-30.8ppt
連結合計	売上高	12,099	12,289	14,584	9,382	10,719	7,438	-39.5
	営業利益*	292	732	805	-149	821	387	-47.1
	OPM (%)	2.4	6.0	5.5	-1.6	7.7	5.2	-0.7ppt

Source: Nippon-IBR based on Hirano Tecseed's earnings results materials

*1: Total OP = Total segment OP deducted by HQ costs

ヒラノテクシード(6245): セグメント別生産、受注及び販売の実績(累計ベース)								
(百万円)	FY23		FY24			FY25		
	上期	通期	上期	下期	通期	上期	YoY (%)	HoH (%)
塗工機関連機器	売上高	18,227	37,374	20,629	21,390	42,020	15,051	-27.0
	生産実績	15,989	31,915	17,855	18,726	36,581	12,438	-30.3
	受注高	3,580	24,222	16,126	10,470	26,596	5,428	-66.3
	受注残高	54,265	55,760	51,256	40,335	40,335	30,713	-40.1
化工機関連機器	売上高	3,261	7,850	2,941	1,704	4,645	2,309	-21.5
	生産実績	2,612	6,232	2,514	1,503	4,018	1,806	-28.2
	受注高	2,247	4,149	1,719	3,407	5,127	1,389	-19.2
	受注残高	8,737	6,049	4,828	6,531	6,531	5,611	16.2
その他・調整	売上高	857	1,720	817	871	1,688	796	-2.5
	生産実績	714	1,287	584	648	1,233	668	14.4
	受注高	868	1,476	721	661	1,382	579	-19.7
	受注残高	1,253	998	902	692	692	474	-47.4
連結合計	売上高	22,346	46,946	24,388	23,967	48,355	18,157	-25.5
	生産実績	19,316	39,434	20,954	20,878	41,833	14,914	-28.8
	受注高	6,696	29,848	18,567	14,539	33,106	7,397	-60.2
	受注残高	64,256	62,808	56,987	47,559	47,559	36,799	-35.4

Source: Nippon-IBR based on Hirano Tecseed's earnings results materials

ヒラノテクシード（6245）: セグメント別生産、受注及び販売の実績（四半期）											
（百万円）		FY24				FY25					
		Q1	Q2	上期	通期	Q1	Q2	YoY (%)	QoQ (%)	上期	YoY (%)
塗工機関連機器	売上高	10,332	10,297	20,629	42,020	9,392	5,659	-45.0	-39.7	15,051	-27.0
	生産実績	9,049	8,806	17,855	36,581	7,691	4,747	-46.1	-38.3	12,438	-30.3
	受注高	5,555	10,570	16,126	26,596	2,754	2,674	-74.7	-2.9	5,428	-66.3
	受注残高	50,983	51,256	51,256	40,335	33,698	30,713	-40.1	-8.9	30,713	-40.1
化工機関連機器	売上高	1,260	1,681	2,941	4,645	1,020	1,288	-23.3	26.3	2,309	-21.5
	生産実績	1,182	1,332	2,514	4,018	860	946	-29.0	10.0	1,806	-28.2
	受注高	1,299	420	1,719	5,127	309	1,079	156.7	248.9	1,389	-19.2
	受注残高	6,088	4,828	4,828	6,531	5,820	5,611	16.2	-3.6	5,611	16.2
その他・調整	売上高	506	310	817	1,688	307	489	57.6	59.5	796	-2.5
	生産実績	391	193	584	1,233	224	444	129.7	97.5	668	14.4
	受注高	355	365	721	1,382	279	300	-18.0	7.5	579	-19.7
	受注残高	847	902	902	692	664	474	-47.5	-28.7	474	-47.4
連結合計	売上高	12,099	12,289	24,388	48,355	10,719	7,438	-39.5	-30.6	18,157	-25.5
	生産実績	10,622	10,331	20,954	41,833	8,776	6,137	-40.6	-30.1	14,914	-28.8
	受注高	7,210	11,356	18,567	33,106	3,343	4,054	-64.3	21.3	7,397	-60.2
	受注残高	57,919	56,987	56,987	47,559	40,183	36,799	-35.4	-8.4	36,799	-35.4

Source: Nippon-IBR based on Hirano Tecseed's earnings results materials

FY25 業績予想

FY25 通期予想は、売上高 33,500 百万円（前期比 30.7%減）、営業利益 1,500 百万円（同 10.8%減）で据え置かれた。同社は EV 市場の世界的な減速や米国の関税政策による長引く不透明感の影響で、塗工機関連機器セグメントは通期で減収減益になると見ている。FY25 の会社予想には付帯工事の売上も織り込まれているが、リチウムイオン二次電池向け塗工機関連機器が減収になれば、付帯工事もその分減収となる。同社は FY24 に発生した収益性における課題を認識しており、営業利益は絶対値で減益が予想されるものの、営業利益率の 3.5%から 4.5%への改善を目指す。

EV 市場の世界的な先行き不透明感は同社の当初の想定より長引く可能性があり、顧客の設備投資意欲の減退に繋がるため、同社は受注残の消化ペースは今後鈍化し塗工機関連機器セグメントの業績は弱含むと見ている。

ヒラノテクシード（6245 JP）: 業績サマリー及びガイダンス								
（百万円）	FY23		FY24		FY25			
	上期	通期	上期	通期	上期	YoY (%)	通期(予)	YoY (%)
売上	22,346	46,946	24,388	48,355	18,157	-25.5	33,500	-30.7
GP	3,030	7,511	3,433	6,522	3,243	-5.6	N/A	N/A
GPM (%)	13.6	16.0	14.1	13.5	17.9	+3.8ppt	N/A	N/A
SG&A	2,260	4,275	2,409	4,840	2,033	-15.6	N/A	N/A
SG&A/Sales(%)	10.1	9.1	9.9	10.0	11.2	+1.3ppt	N/A	N/A
営業利益	769	3,236	1,024	1,681	1,209	18.0	1,500	-10.8
OPM (%)	3.4	6.9	4.2	3.5	6.7	+2.5ppt	4.5	+1.0ppt
経常利益	814	3,394	1,201	1,894	1,275	6.1	1,600	-15.6
RPM (%)	3.6	7.2	4.9	3.9	7.0	+2.1ppt	4.8	+0.9ppt
当期純利益*	564	2,438	867	905	901	3.9	1,100	21.4
EPS (¥)	37.42	161.69	57.37	59.91	59.59	3.9	72.75	21.4

Source: Nippon-IBR based on Hirano Tecseed's earnings results materials

* NP attributed to the parent's shareholders

中期経営計画（FY24～FY27）の修正

2023 年 5 月の「長期ビジョン 2030」、および 2024 年 5 月の中期経営計画（FY24-FY27）発表時と比べ事業環境が大きく変化したことを踏まえ、同社は中期経営計画の成長戦略の見直しを行った。今後は、EV 需要に基づく二次電池塗工装置を中心とした生産能力向上重視の戦略から、各先端分野の薄膜新素材の開発に重点をおいたあらゆるニーズに対応できる同社本来の強みを生かした戦略へと転換を図る。修正後の中期経営計画では、収益性を重視し、景気の波からの回復を目指しつつ、多様な収益源の確保と費用構造の改革を通して安定収益基盤の確立を図る。

同社は収益構造改革に取り組む FY26 までは、営業利益は 1,500 – 2,000 百万円の範囲に留まる予想する。FY27 には、売上高 30,000 百万円（4 年 CAGR -10.6%）、営業利益 3,000 百万円（4 年 CAGR -1.6%）の達成を目指す。収益成長率はマイナスの傾向となるものの、同社は営業利益率の FY23 の 6.9% から FY27 の 10.0% への改善を図る。

株主資本を最適化する資本政策

長引く EV 市場を取り巻く不透明感が顧客の設備投資意欲を減退させ、同社のキャッシュ流入を悪化させているものの、同社は現在の資本政策を据え置き、中期経営計画（FY24-FY27）期間中は現行の株主還元（株主資本配当率 3.5% または配当性向 60% のいずれか高い金額を目安とする）を維持すると明言している。成長投資を優先すると共に、バランスシート、ひいては株主資本の最適化を図り、ROE を改善する（FY28 以降の目標 8%）計画である。PBR1 倍を達成するために、利益を改善し、バランスシートを最適化することを目指す。

具体的には以下の 5 つの分野に資本配分する。

1. 成長投資 約 3,000 百万円

修正前の成長投資戦略では生産体制の拡充に焦点を当てていたが、修正後の計画では、テクニカムテスト機導入に向けた新規投資や、アフターサービスの強化、新領域の獲得に向けた投資に重点を置く。

2. 戦略的アライアンス投資または株主還元 約 3,000 百万円

修正前は、重要部品の安定確保のための戦略的アライアンス構築に資金配分する計画であったが、市場環境の急激な変化に鑑み優先度の高い成長投資を実行する。

3. 配当

株主還元政策に変更はない。同社は DOE3.5% か配当性向 60% のうちどちらか高い方を還元するとしている。配当は定期的に見直し、PBR および ROE 改善に繋がる株主資本の最適化に努める。

4. 基盤投資 2,000 百万円

既存工場のインフラの更新に 2,000 百万円投資する。投資は時期を見極めつつ実行する。

GENERAL DISCLAIMER AND COPYRIGHT

This report has been commissioned by Hirano Tecseed Co., Ltd. (the Sponsor) and prepared and issued by Nippon Investment Bespoke Research UK Ltd (Nippon-IBR), in consideration of a fee payable by the Sponsor. Fees are paid on delivery of the report in cash without recourse. Nippon-IBR may seek additional fees for the provision of follow-up research reports and associated IR services for the client but does not get remunerated for any investment banking services. We never take payment in stock, options, or warrants for any of our services.

Accuracy of content: All information used in the publication of this report has been compiled from publicly available sources that are believed to be reliable, however Nippon-IBR does not guarantee the accuracy or completeness of this report and has not sought for this information to be independently verified. Opinions contained in this report represent those of the Nippon-IBR analyst at the time of publication. Forward-looking information or statements in this report contain information that is based on assumptions, forecasts of future results, estimates of amounts not yet determinable, and therefore involve known and unknown risks, uncertainties and other factors which may cause the actual results, performance, or achievements of their subject matter to be materially different from current expectations.

Exclusion of Liability: To the fullest extent allowed by law, Nippon-IBR shall not be liable for any direct, indirect, or consequential losses, loss of profits, damages, costs, or expenses incurred or suffered by you arising out of or in connection with the access to, use of or reliance on any information contained on this note.

No personalised advice: The information that we provide should not be construed in any manner whatsoever as, personalised advice. Also, the information provided by us should not be construed by any subscriber or prospective subscriber as Nippon-IBR's solicitation to effect, or attempt to effect, any transaction in a security. The securities described in the report may not be eligible for sale in all jurisdictions or to certain categories of investors.

Investment in securities mentioned: Nippon-IBR has a restrictive policy relating to personal dealing and conflicts of interest. It does not conduct any investment business and, accordingly, does not itself hold any positions in the securities mentioned in this report. However, the respective directors, officers, employees, and contractors of Nippon-IBR may have a position in any or related securities mentioned in this report, subject to its policies on personal dealing and conflicts of interest.

Copyright: Copyright 2025 Nippon Investment Bespoke Research UK Ltd.

For further enquiry, please contact:

Nippon Investment Bespoke Research UK Ltd

118 Pall Mall

London SW1Y 5EA

TEL: +44 (0)20 7993 2583

Email : enquiries@nippon-ibr.com



Research Beyond Horizons
Japanese Equity Specialist

Nippon Investment Bespoke Research UK Ltd (formerly known as NIB Research UK Ltd.) is registered in England and Wales (9100028) and is authorised and regulated by the Financial Conduct Authority <FRN: 928332>.